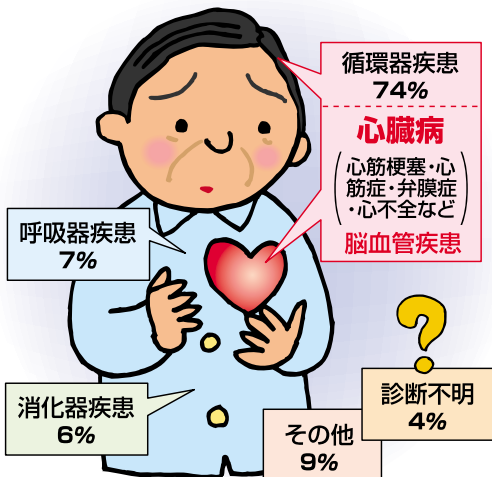


## 突然死の原因となる病気



厚生労働省：突然死に関する研究，平成6年度より作図改変

それまで健康だった人が、ある日突然、命を落とす。そんな「突然死」の恐怖は、決して人ごとではありません。突然死は、予期しない急死のことで、発症から二十四時間以内の死亡と定義されています。原因は、心筋梗塞をはじめ、心筋症、弁膜症、心不全などの心臓病によるものが六割以上を占め、そのほとんどが心室で生じる致死的な不整脈に起因するといわれています。

こうした心臓病が原因で起こる「心臓突然死」は、発症から一時間以内で死亡するケースが多く、その数は、米国では毎年四〇万人以上、日本でも三〇四万人といわれ、今後高齢者人口の増加に比例して、さらに増えるのではな

# 心臓病と突然死の危険な関係



## 心臓突然死の八割は心室細動が原因

心臓はふつう、洞結節という発電所で作られた電気的興奮が、心房から心室へと伝わることにより、規則正しく収縮と弛緩を繰り返しています。この電気の発生や伝導経路にトラブルが起こり、拍動が不規則になった状態が不整脈です。

不整脈のなかでも、心室頻拍や心室細動は致死性の高い不整脈です。心臓病が原因で起こる突然死のうち、心臓が止まる直接の原因の約八割が心室細動によるものといわれています。

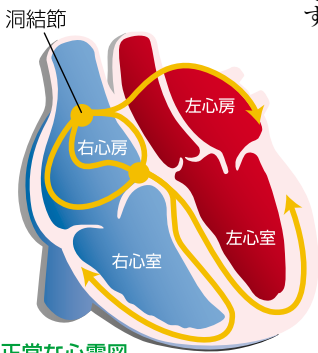
## こんな人は心臓突然死の危険が...

突然死した人の多くは、心臓に何らかの異常があったり、親族に突然死した人がいることがわかっています。たとえ心機能が正常でも、心室細動の引き金となる特殊な不整脈をもっている患者さんがおられます。これらの異常は心電図検査で見つけることができます。定期的に心電図検査を受けるようにしましょう。

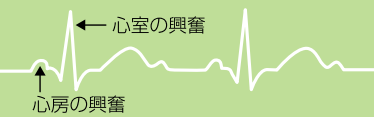
- 急に失神したことがある
- 動悸や息切れなどの症状がある
- 親族に突然死した人がいる
- 心臓病を患ったことがある
- 心電図やレントゲンに異常がある
- 生活が不規則でストレスが多い

**症状がなくても、定期的な心電図検査を!**

## 心臓の電気の流れ



正常な心電図



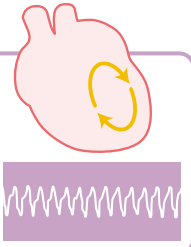
## 突然死を予防するには

こうした危険な不整脈を起こした人、起こすおそれのある人は、適切な治療を受けることが大切です。ICD（植え込み型除細動器）による治療も、突然死予防に成果をあげています。

心臓病の人は、過度な運動やストレス、睡眠不足などによって、危険な不整脈が現れる場合もありますので、生活習慣に十分注意してください。

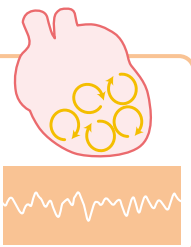
## 心室頻拍

心室内に異常な電気の通り道ができ、興奮がグルグル旋回します。脈拍が1分間に130回以上にもなり、心室細動に移行すれば突然死します。



## 心室細動

心室のいたるところで電気信号が発生し、でたらめな興奮の旋回が起きます。心室がけいれんし、収縮できないため、心停止と同じ状態になり、すぐに治療しないと死亡します。



## 日本心臓財団より

日本心臓財団は、わが国三大死因のうちの心臓病と脳卒中の制圧を目指して、一九七〇年に発足いたしました。当財団は、研究に対する助成や予防啓蒙、また世界心臓連合加盟団体としての諸活動を通して、心臓血管病の予防・制圧に努めております。当財団は皆様のご寄付により運営されています。どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

財団法人日本心臓財団  
〒一〇〇〇〇五 東京都千代田区丸の内三・四一 新国際ビル  
☎〇三三三三〇一〇八〇  
ホームページ・アドレス <http://www.jhf.or.jp/>

